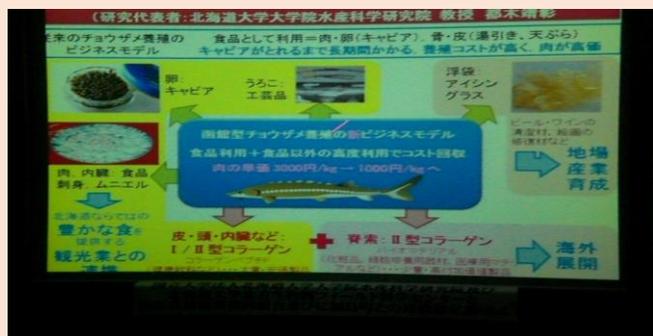
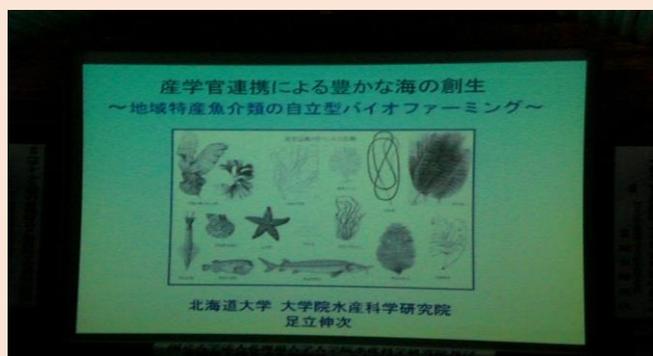


北大水産学部及び北方生物圏フィールド科学センターと  
福島吉岡漁協並びに福島町との  
連携協定調印式



1月25日（月）青函トンネル記念館にて行われた連携協定式は、北海道大学より研究院長や教授、科学センターからはセンター長、漁協からも組合長や専務などが参列されました。この連携協定は、大学側の研究と町で行う水産業の発展のため相互に協力し、互いにとって有益な成果を目指すために締結されたものです。北海道大学とは以前より連携し、水産業の振興、発展を目指しています。



調印式終了後、北大水産学部の足立教授と北大北方圏生物化学センターの山羽副センター長による記念講演として、これまでの連携内容や成果、事業化を目指しているトラウトやチョウザメの展望などについてお話していただきました。これから事業化に向けていく上で大変参考となる講演でした。



懇親会では、実際に飼育しているチョウザメを唐揚げと刺身で提供しました。初めての食感や味に、皆様から様々な意見をいただきました。